



山口県本部版

NO 293

治安維持法犠牲者

国家賠償要求同盟

山口県本部

〒754-0004

山口市小郡金堀町

21番の1

林洋武方

電話&FAX

083 (972) 3987

下関市議選 共産党1議席減で3議席に
 県議選での巻き返し必ず

(写真 下関市議選投票翌日の街頭宣伝)

左から西岡前市議、木佐木県議、桧垣市議

写真提供は木佐木県議)

- ◆ 「安保3文書」の撤回、大軍拡に反対する署名に全員で取り組みましょう。
- ◆ 長生炭鉱水没事故81周年・犠牲者追悼集会在が2月4日宇部市の長生炭鉱追悼広場で行われました。
- ◆ 第57回思想と信教の自由を守る山口県民集会(2・11集会)は2月11日山口県教育会館で開かれます。
- ◆ センチュリー裁判は2月15日、広島高裁で第1回弁論が行われます。
- ◆ 市川正一碑前祭は今年も3月15日光市鮎返りで午前11時から開かれ、同盟もあいさつします。
- ◆ 米兵犯罪を許さない!岩国市民集会&パレード2月19日(日)14時~岩国市役所前広場
- ◆ 同盟県本部2月度役員会は17日(金)午後1時30分から共産党県委員会が開きます。
- ◆ 同盟署名は1月末で198筆です

日本共産党創立百周年によせて (3)

道を求め続けたマルクス経済学者 河上肇

山口県が生んだ誇るべきマルクス経済学者もまた山口県出身です。一八七九年(明治十二年)岩国市錦見錦帯橋の近くで生まれ、旧制山口高校・東大法学を卒業して京都大学経済学部の教授に就任します。大阪朝日新聞に貧富の格差をとりあげた「貧乏物語」を連載し社会的に衝撃をあたえました。

その頃より研究を進めて科学的社会主義の立場に接近し、「日本の経済学を大きく転換させた」といわれる学問的業績を上げる一方、社会問題の評論家としても一世を風靡しました。軍部や権力からの圧力が強まり京大教授を追放され社会主義運動の実践に参加しました。当時世間的には「末は博士か大臣か」などいわれるなかで帝国大学教授の身分を棒にふって左翼の運動に加わったことに世間は驚きまた大きな反響がありました。この後、社会運動から地下活動に、日本共産党に参加したのは五三歳の時でした。特高警察に一九三三年一月に検挙され、河上

氏は「マルクス主義の研究は続けるが実際活動はやらない」と変節を表明しました。河上氏の変節は影響の大きなことあり日本共産党は除名しました。権力は治安維持法違反の罪名で懲役五年の刑を科し河上氏は服役しました。日本の敗戦後日本共産党に再入党しましたが、戦争中の獄中の無理がたたって敗戦後六か月後栄養失調で病死しました。六七歳でした。

絶筆に「われもし十年若かりせば、澎湃たる人民革命の滔天の波をよじて共に風雲を叱咤せんとす」と解放の喜びを歌いました。一筋に道を求め続けた誠実な思想遍歴と希代な文才に多くの国民が感銘をうけました。没後七七年に至る現在も、全国三百人に近い学者研究者達は氏を敬慕し研究しようと「河上肇記念会」を組織し会報を発行しています。山口県から加藤碩氏と原田啓子氏(河上肇の弟左京の孫)のお二人が世話人をつとめています。なお京都法然院と岩国市錦川河岸に河上肇の歌碑がたっています。また岩波書店より河上肇全集三六巻があります。

(つづく)

(林洋武)